

<全体分析>

試験時間 1科目選択で75分
もしくは2科目4問選択で100分

解答形式

マーク, 記述, 計算

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

理論, 無機, 有機とバランスよく出題されている。

その他トピックス

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	マーク 記述 計算	結晶 金属イオンの 性質と反応 溶解度積 中和滴定	化学	(i)結晶の名称, 配位数, 密度の計算など (ii)Na ⁺ , Al ³⁺ , Cu ²⁺ , Zn ²⁺ , Ag ⁺ の性質と反応や溶解度積の計算など (iii)呼気中のCO ₂ の物質質量や体積%濃度の計算など	標準
[II]	マーク 記述 計算	気体の溶解度 熱化学 気体 酸化数	化学	(i)気体の溶解度の原理と計算など (ii)ヘスの法則を利用して, Clの電子親和力を求める内容 (iii)混合気体の計算を中心に, 酸化数や無機反応も絡めている内容	標準
[III]	マーク 記述 計算	有機化合物の 構造推定 芳香族化合物 合成高分子化合物	化学	(i)脂肪族化合物の構造推定を中心に酸の強さも問うている (ii)フェノールの性質やその誘導体を中心に収率計算も含まれている (iii)ポリエステル, ポリアミドを中心に, ナイロン66の重合度の計算も含まれている	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 理論・無機・有機をまんべんなく学習しておくこと。
2. 教科書の内容を十分整理してマスターしておくこと。
3. 化学用語や定義を正確に理解しておくこと。
4. 教科書傍用問題集レベルの問題演習を数多く行っておくこと。